

全産業が外部委託になる日。

「雇用」という概念は、完全に消滅する。



AIエージェントの普及が 「正社員」を終わらせる

企業は今後、新しい「雇用契約」を結びません。新規の労働力にはすべて「個人事業主としての業務委託契約」のみが提示される時代が到来しています。



なぜ企業はそこまですて 「雇用」を捨てるのか？

1. 株主の目
2. 不祥事リスク
3. 税制と社会保険



理由①：株主は「無駄」 を絶対に許さない

生産性に見合わない給料。
成果に連動しない過剰な福利厚生。
資本主義の徹底により、株主はこれ
らのコストを容赦なく切り捨てま
す。



理由②：ブランドを吹き飛ばす「内部の爆弾」

従業員による炎上や不祥事リスク。
企業は、会社とブランドを守るため、
リスクの火種となる人間を極力「外部」へと切り離しにかかっています。



理由③：最大のトリガーは「消費税と社会保険」

この国の税制そのものが、企業に対して強烈なバイアスをかけています。「雇用は邪魔だ、全部外部委託にしろ」と。





従業員に「給与」を払う場合

- 消費税の控除：**×** 受けられない
- 社会保険料：**×** 会社が半分を負担
(重いコスト)



外部委託に「外注費」 として払う場合

- 消費税の控除：**✓** ガッツリ受けられ
税金が減る
- 社会保険料：**✓** 会社の負担ゼロ

会社という「温室」の正体

あなたが当たり前だと思っている福利厚生。それは自然発生した権利ではなく、経営者が血を流して維持している「温室の壁」に過ぎません。





あと3年間、せいぜい「この世の春」を謳歌してください

この記事を「ブラック経営者の愚痴だ」と笑うなら、どうぞ存分に笑ってください。
有給を完全消化し、「つながらない権利」を行使して、たっぷり休めばいい。

3年後、温室のガラスは 確実に割られる

極寒の荒野に放り出された時。
自分の身を守る術を持たないあなた
は、確実に野垂れ死にます。

全員が外部委託になる時代、福利厚生は「自分の力で作るもの」です。



「経営者と同じ覚悟」を持つ者だけが生き残る

この残酷な階級社会を生き抜く道は一つしかありません。
自分の腕と責任だけを頼りに、勝負することです。



「データはAI、 決断は社長。」

有限会社吹田総業 代表・吹田克己
現場のリアルな情報を包み隠さず
お伝えしてきました。

しかし、この短いプレゼンでは「生
き残るための具体策」のすべてを
語りきれません。



極寒の荒野を生き抜く「ディープな経営ノウハウ」

あなたが次の3年を生き残るための真の知識は、すべてここにあります。
今すぐアクセスし、「社長の着想日誌」を読んでください。

<http://fkt-office.com/>



チャンネル登録・高評価